

実施主体
岐阜未来研究団 97

実施期間
1997年3月

本人の役割
プロデューサー、デザイナー、デザイン指揮

スタッフ
企業デザイナー7名、デザイン系学生5名、
地域住民3名、アドバイザー2名

社会人デザイナーとデザイン学生合同のまちづくり提案展示

岐阜未来研究団 岐阜市電のデザイン小展覧会

岐阜市を走る路面電車、名古屋鉄道岐阜市内線に対する総合的なデザイン提案を企業デザイナーとデザイン系学生および地域住民の協力で行った。

都市を移動するための最適な交通手段である、との基本スタンスを確立し、では、その良さを最大化するにはどのような工夫の余地があるのか、という観点でコンセプトを確立し、デザイン制作に取り組んだ。

背景の違う15名が、それぞれペアを組んで題材(路面電車の外装、内装、電停、情報提供、サイン、広報アイテム、サービス)をデザインし、提案した。

この準備の過程で地域住民による、地元の路面電車の歴史といまを語るブース設営について協力の申し出があり、協働しての出展となったほか、対象となる名古屋鉄道(株)に勤務する有志からの応援と写真提供を受け、広報面を充実させることができた。

